



## 2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月13日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社  
 コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 惠本 司  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 白畑 康  
 定時株主総会開催予定日 2022年6月28日 配当支払開始予定日 2022年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6414-5522

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	58,492	6.8	2,229	18.0	2,818	20.0	1,975	20.3
2021年3月期	54,792	△3.9	1,889	17.0	2,349	12.6	1,642	22.5

(注) 包括利益 2022年3月期 1,060百万円 (△58.0%) 2021年3月期 2,526百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	141.76	—	2.9	2.8	3.8
2021年3月期	115.88	—	2.4	2.4	3.4

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 40百万円 2021年3月期 34百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	100,458	67,918	67.6	5,037.45
2021年3月期	97,392	68,462	70.3	4,886.11

(参考) 自己資本 2022年3月期 67,918百万円 2021年3月期 68,462百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	2,577	489	1,381	11,150
2021年3月期	△181	△2,736	△1,124	6,701

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	—	—	50.00	50.00	700	43.1	1.0
2022年3月期	—	—	—	50.00	50.00	674	35.3	1.0
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00	—	—	—

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,000	6.9	900	△43.8	1,100	△41.6	800	22.5	59.33
通期	62,000	6.0	△1,100	—	△700	—	△500	—	△37.08

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期	15,325,642 株	2021年3月期	15,325,642 株
② 期末自己株式数	2022年3月期	1,842,873 株	2021年3月期	1,314,072 株
③ 期中平均株式数	2022年3月期	13,932,948 株	2021年3月期	14,171,135 株

(注) 1株当たり当期純利益(連結)の算定上の基礎となる株式数については添付資料15ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(1株当たり情報)」をご覧ください。

(参考)個別業績の概要

2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	56,004	6.9	1,856	17.5	2,342	20.1	2,300	69.1
2021年3月期	52,406	△3.9	1,580	25.4	1,950	18.2	1,360	29.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	165.10	—
2021年3月期	95.99	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2022年3月期	95,705	60,895	60,895	61,205	63.6	4,516.51	4,368.21	
2021年3月期	92,289	61,205	61,205	61,205	66.3	4,368.21	4,368.21	

(参考) 自己資本 2022年3月期 60,895百万円 2021年3月期 61,205百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況 次期の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は本日、当社ウェブサイトに掲載予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. 個別財務諸表	16
(1) 貸借対照表	16
(2) 損益計算書	18
(3) 株主資本等変動計算書	19

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## ① 当期の経営成績

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ワクチン接種等の効果や海外経済の改善があるものの、ウクライナ情勢等の影響に伴う原材料やエネルギー価格上昇の影響等、先行きが非常に不透明な状況となっております。

消費者の低甘味嗜好や安価な加糖調製品、異性化糖、高甘味度人工甘味料の増加等からこれまでも減少傾向にあった国内の砂糖消費量は、コロナ禍の影響によりさらに著しく落ち込み、砂糖業界は大変厳しい状況となっております。

当連結会計年度は、主に砂糖事業と飼料事業の売上の増加により、売上高は前期比6.8%増の58,492百万円となり、経常利益は、前期比20.0%増の2,818百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、関係会社株式売却損と減損損失を特別損失で計上したものの、投資有価証券の売却益を特別利益に計上したため、前期比20.3%増の1,975百万円となりました。

当社グループは、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用しております。「収益認識会計基準」等の適用に関する詳細につきましては、「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載の通りであります。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

## &lt; 砂糖事業 &gt;

海外市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限）において1ポンド当たり期初14.71セントで始まり、11月には砂糖の主要生産国であるブラジルの天候不順の影響による砂糖減産見込みや投機資金の流入により、20.42セントまで上昇しました。

その後、12月～2月はコロナ禍の影響や投機資金の縮小に伴い下落傾向となりましたが、ウクライナ情勢等の影響によるエネルギー供給に対する懸念から原油相場と連動して徐々に上昇し、19.49セントで当期を終えました。

一方、国内市況につきましては、期初192円～193円（東京精糖上白現物相場、キログラム当たり）で始まりましたが、海外砂糖相場の上昇を受けて、8月に198円～199円に上昇、1月には204円～205円に上昇し、そのまま当期を終えました。

ビート糖は、コロナ禍以前の一昨年並みの販売量までは届かず厳しい状況ですが、清涼飲料向けや製パン向け等の業務用販売に回復傾向がみられ、白糖、原料糖の売上高、販売量については前期を上回りました。

また、ここ数年ビート糖の需給バランスが不均衡となっているため、原料糖の在庫が増加しております。

精糖は、コロナ禍の影響により前期に比べ家庭用、業務用とも販売量が減少し、売上高についても前期を下回りました。

砂糖セグメントの売上高は、37,809百万円（前期比7.0%増）となり、コスト削減に努めたものの、原料糖在庫による保管費増加の影響もあり、331百万円のセグメント損失（前期は716百万円のセグメント損失）となりました。

## &lt; 食品事業 &gt;

イーストは、コロナ禍の影響が見られるものの、売上高はほぼ前期並みとなりました。

オリゴ糖等食品素材は、ラフィノースやフラクトオリゴ糖等オリゴ糖の販売量が増加したものの伸び悩みました。

食品セグメントの売上高は、2,350百万円（前期比5.6%増）となりましたが、燃料費等の上昇による製造コストの増加により、21百万円のセグメント損失（前期は23百万円のセグメント利益）となりました。

なお、清水バイオ工場の生産設備について、イーストの需要低迷とフラクトオリゴ糖の売上の伸び悩みにより、収益性が低下しました。そのため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、当第4四半期連結会計期間において減損損失414百万円を特別損失に計上しております。

## &lt; 飼料事業 &gt;

配合飼料は、穀物価格の高騰に伴う販売単価の増加と、販売努力により販売数量が増加したため、

売上高は前期を上回りました。

ビートパルプは、原料てん菜の収量増加に伴う増産により、販売量、売上高ともに前期を上回りました。

飼料セグメントの売上高は、11,253百万円（前期比12.3%増）となり、セグメント利益は1,321百万円（前期比13.6%増）となりました。

#### <農業資材事業>

紙筒（移植栽培用育苗鉢）は、ビート用、そ菜用とも販売量が減少し、売上高は前期を下回りました。

農業機材は、ビート用の移植機、培土等の売上減少により、売上高は前期を下回りました。

農業資材セグメントの売上高は、4,228百万円（前期比6.2%減）となり、セグメント利益は海外向けの紙筒在庫の評価損を計上した影響もあり、190百万円（前期比59.5%減）となりました。

#### <不動産事業>

不動産事業は、売上高はほぼ前期並みでしたが、営業利益はコストの削減により増加しました。

不動産セグメントの売上高は、1,549百万円（前期比2.6%増）となり、セグメント利益は968百万円（前期比11.8%増）となりました。

#### <その他の事業>

その他の事業は、主にスポーツレジャー施設及びガソリンスタンドの来客者数の回復や貨物輸送の増加もあり、売上、利益が増加しました。

その他の事業の売上高は、1,301百万円（前期比9.7%増）となり、営業利益は94百万円（前期比19.3%増）となりました。

### ②次期の見通し

砂糖業界を取り巻く環境は、深刻な砂糖離れに加え、コロナ禍による経済活動抑制の影響もあり砂糖消費の低迷が続き、非常に厳しい状況となっております。次期の見通しにつきましては、ウクライナ情勢等の影響によるエネルギーコストの高騰により、砂糖を始めとした当社製品の製造コストの著しい増加が見込まれることから、大幅な業績の悪化を予想しております。

2022年産原料てん菜の作況や海外砂糖相場の動向等、先行き不透明な部分があり、コスト削減や適正価格での販売に努めますが、現時点においては、売上高62,000百万円、経常損失は700百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は500百万円を見込んでおります。

今後、業績予想に変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

資産の合計は100,458百万円で、前連結会計年度末に比べ3,066百万円の増加となりました。このうち流動資産は54,952百万円となり、主に有価証券の増加により、前連結会計年度末に比べ7,237百万円の増加となりました。また、固定資産は45,506百万円となり、主に投資有価証券の減少により、前連結会計年度末に比べ4,171百万円の減少となりました。

一方、負債の合計は32,540百万円で、主に短期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ3,609百万円の増加となりました。

純資産は67,918百万円で、主にその他有価証券評価差額金の減少により、前連結会計年度末に比べ543百万円の減少となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、2,577百万円の収入となり、前年同期に比べ、2,759百万円の資金の増加となりました。

これは、主に仕入債務の増加で1,013百万円、売上債権の減少で928百万円、未収入金の減少で340百万円の資金の増加となったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、489百万円の収入となり、前年同期に比べ、3,226百万円の資金の増加となりました。

これは、主に投資有価証券の売却による収入の増加で1,709百万円、関係会社株式の売却による収入で776百万円、貸付金の回収による収入の増加で300百万円の資金の増加となったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,381百万円の収入となり、前年同期に比べ、2,506百万円の資金の増加となりました。

これは、主に自己株式の取得による支出の増加で593百万円の資金の減少となったものの、短期借入金の収支差による収入で3,090百万円の資金の増加となったことによるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ4,449百万円増加し、11,150百万円となりました。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期
自己資本比率 (%)	69.4	70.3	67.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	25.3	23.6	21.6
債務償還年数 (年)	4.6	—	6.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	37.6	—	20.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務指標数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

3. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。なお、2021年3月期の債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため、記載を省略しています。

4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

5. 利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、株主の皆様への適切な利益還元を経営上の重要な政策と位置づけ、財務体質の強化と事業基盤の拡大を図りつつ、安定的な配当を継続することを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、将来にわたる企業体質の改善及び事業の拡大に備え、設備の新設・更新等の資金需要に有効に活用してまいりたいと存じます。

当期の配当金につきましては、砂糖業界を取り巻く環境が依然として厳しく、先行き予断を許さない状況にありますので、企業体質の一層の強化・充実を図るため、内部留保にも意を用い、1株につき50円の配当を予定しております。

次期の配当金につきましては、安定的な配当を継続するという基本方針に基づき、1株につき同じく50円の配当を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,881	6,160
受取手形及び売掛金	7,611	-
受取手形	-	519
売掛金	-	6,809
有価証券	3,500	6,000
商品及び製品	26,643	27,616
仕掛品	1,696	3,284
原材料及び貯蔵品	2,583	2,996
未収入金	1,561	1,352
その他	238	218
貸倒引当金	△0	△5
流動資産合計	47,714	54,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,974	37,268
減価償却累計額	△25,306	△25,906
建物及び構築物（純額）	11,667	11,362
機械装置及び運搬具	53,152	53,829
減価償却累計額	△47,188	△48,158
機械装置及び運搬具（純額）	5,963	5,671
土地	6,189	6,110
リース資産	74	77
減価償却累計額	△47	△57
リース資産（純額）	27	20
建設仮勘定	227	249
その他	3,110	3,045
減価償却累計額	△2,892	△2,851
その他（純額）	218	193
有形固定資産合計	24,293	23,607
無形固定資産	344	425
投資その他の資産		
投資有価証券	23,231	19,809
長期貸付金	280	-
退職給付に係る資産	1,363	1,502
その他	191	162
貸倒引当金	△26	△1
投資その他の資産合計	25,040	21,473
固定資産合計	49,677	45,506
資産合計	97,392	100,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,114	1,749
短期借入金	11,662	14,663
未払法人税等	335	954
契約負債	-	4
その他	5,157	5,254
流動負債合計	18,270	22,626
固定負債		
長期借入金	233	226
繰延税金負債	3,860	3,331
役員退職慰労引当金	22	24
退職給付に係る負債	4,614	4,499
その他	1,930	1,831
固定負債合計	10,660	9,913
負債合計	28,930	32,540
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,418	8,416
利益剰余金	43,663	44,934
自己株式	△2,630	△3,528
株主資本合計	57,730	58,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,389	9,367
繰延ヘッジ損益	3	3
退職給付に係る調整累計額	338	446
その他の包括利益累計額合計	10,731	9,816
純資産合計	68,462	67,918
負債純資産合計	97,392	100,458

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	54,792	58,492
売上原価	38,422	43,216
売上総利益	16,369	15,276
販売費及び一般管理費		
販売費	11,415	9,993
一般管理費	3,064	3,052
販売費及び一般管理費合計	14,479	13,046
営業利益	1,889	2,229
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	566	633
持分法による投資利益	34	40
その他	70	116
営業外収益合計	674	792
営業外費用		
支払利息	109	117
固定資産処分損	75	60
その他	30	25
営業外費用合計	215	203
経常利益	2,349	2,818
特別利益		
投資有価証券売却益	5	1,494
その他	-	4
特別利益合計	5	1,499
特別損失		
固定資産処分損	27	60
関係会社株式売却損	-	675
減損損失	21	473
その他	-	21
特別損失合計	49	1,230
税金等調整前当期純利益	2,305	3,087
法人税、住民税及び事業税	676	1,249
法人税等調整額	△13	△136
法人税等合計	663	1,112
当期純利益	1,642	1,975
親会社株主に帰属する当期純利益	1,642	1,975

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	1,642	1,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	562	△1,021
繰延ヘッジ損益	4	△0
退職給付に係る調整額	317	107
その他の包括利益合計	884	△914
包括利益	2,526	1,060
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,526	1,060
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,279	8,420	42,730	△2,327	57,103
当期変動額					
剰余金の配当			△710		△710
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,642		1,642
自己株式の取得				△316	△316
自己株式の処分		△2		13	11
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2	932	△303	626
当期末残高	8,279	8,418	43,663	△2,630	57,730

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	9,826	△0	21	9,847	66,951
当期変動額					
剰余金の配当					△710
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,642
自己株式の取得					△316
自己株式の処分					11
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	562	4	317	884	884
当期変動額合計	562	4	317	884	1,510
当期末残高	10,389	3	338	10,731	68,462

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,279	8,418	43,663	△2,630	57,730
会計方針の変更による 累積的影響額			△2		△2
会計方針の変更を反映した 当期首残高	8,279	8,418	43,660	△2,630	57,727
当期変動額					
剰余金の配当			△700		△700
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,975		1,975
自己株式の取得				△910	△910
自己株式の処分		△2		12	10
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△2	1,274	△898	374
当期末残高	8,279	8,416	44,934	△3,528	58,101

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	10,389	3	338	10,731	68,462
会計方針の変更による 累積的影響額					△2
会計方針の変更を反映した 当期首残高	10,389	3	338	10,731	68,459
当期変動額					
剰余金の配当					△700
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,975
自己株式の取得					△910
自己株式の処分					10
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△1,021	△0	107	△914	△914
当期変動額合計	△1,021	△0	107	△914	△540
当期末残高	9,367	3	446	9,816	67,918

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,305	3,087
減価償却費	2,370	2,409
減損損失	21	473
持分法による投資損益(△は益)	△34	△40
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	△94
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	23	△4
受取利息及び受取配当金	△570	△634
支払利息	109	117
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△5	△1,485
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	3
有形固定資産除却損	45	23
関係会社株式売却損益(△は益)	-	675
売上債権の増減額(△は増加)	△623	305
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,841	△2,973
未収入金の増減額(△は増加)	△135	204
仕入債務の増減額(△は減少)	△378	634
未払消費税等の増減額(△は減少)	△14	16
その他	△131	10
小計	137	2,727
利息及び配当金の受取額	570	634
利息の支払額	△88	△128
保険金の受取額	3	0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△803	△655
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△181</b>	<b>2,577</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△680	△1,010
定期預金の払戻による収入	650	680
投資有価証券の取得による支出	△504	△4
投資有価証券の売却及び償還による収入	336	2,045
関係会社株式の売却による収入	-	776
有形固定資産の取得による支出	△2,625	△2,100
有形固定資産の売却による収入	26	32
無形固定資産の取得による支出	△25	△141
貸付けによる支出	△9	△9
貸付金の回収による収入	9	309
国庫補助金等の受入による収入	298	9
預り保証金の返還による支出	△165	△156
預り保証金の受入による収入	-	30
その他	△46	28
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,736</b>	<b>489</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	13,030	16,030
短期借入金の返済による支出	△13,120	△13,030
長期借入れによる収入	130	130
長期借入金の返済による支出	△136	△136
配当金の支払額	△708	△698
自己株式の取得による支出	△316	△910
自己株式の売却による収入	11	10
その他	△14	△13
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,124</b>	<b>1,381</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,042	4,449
現金及び現金同等物の期首残高	10,743	6,701
現金及び現金同等物の期末残高	6,701	11,150

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

## (収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、当社及び連結子会社は、商品又は製品の販売において、従来は出荷時に収益を認識しておりましたが、顧客に納品した時点で収益を認識する方法に変更しております。また、販売奨励金・リベート等の顧客に支払われる対価は、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「受取手形」及び「売掛金」にそれぞれ区分表示しております。

この結果、収益認識会計基準等の適用を行う前と比べて、当連結会計年度の売上高は2,898百万円減少し、売上原価は927百万円減少し、販売費及び一般管理費は1,883百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ87百万円減少しております。また当連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、連結株主資本等変動計算書の利益剰余金の期首残高は2百万円減少しております。

## (時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

## (表示方法の変更)

前連結会計年度の連結貸借対照表において独立掲記しておりました「固定負債」の「長期預り保証金」は、金額の重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定負債」に表示していた「長期預り保証金」729百万円、「その他」1,200百万円は、「その他」1,930百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別に事業単位が分かれており、各事業単位は取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って当社グループは製品・サービス別の事業セグメントから構成されており、「砂糖事業」、「食品事業」、「飼料事業」、「農業資材事業」、「不動産事業」を報告セグメントとしております。

「砂糖事業」はビート糖、精糖及び糖蜜等の製造販売、「食品事業」はイースト、オリゴ糖等食品素材の製造販売、「飼料事業」は飼料の製造販売、「農業資材事業」は農業用機械器具及び農業資材の製造販売、「不動産事業」は商業施設等の賃貸を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

「会計方針の変更」に記載のとおり、当連結会計年度に係る連結財務諸表から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当連結会計年度の「砂糖」の売上高は2,175百万円減少、セグメント損失は63百万円減少し、「食品」の売上高は13百万円減少、セグメント損失は6百万円減少し、「飼料」の売上高は628百万円減少、セグメント利益は7百万円減少し、「農業資材」の売上高は14百万円減少、セグメント利益は7百万円減少し、「不動産」のセグメント利益は2百万円減少し、「その他」の売上高は66百万円減少しております。

## 3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計額
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	35,339	2,225	10,022	4,507	1,510	53,605	1,186	54,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	195	24	14	2	114	351	7,099	7,450
計	35,535	2,250	10,036	4,510	1,624	53,957	8,285	62,242
セグメント利益又は損失(△)	△716	23	1,164	470	866	1,807	79	1,886

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計額
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	37,809	2,350	11,253	4,228	-	55,641	1,252	56,893
その他の収益	-	-	-	-	1,549	1,549	49	1,598
外部顧客への売上高	37,809	2,350	11,253	4,228	1,549	57,191	1,301	58,492
セグメント間の内部売上高 又は振替高	212	25	15	15	124	394	7,825	8,219
計	38,022	2,376	11,268	4,243	1,674	57,585	9,126	66,712
セグメント利益又は損失（△）	△331	△21	1,321	190	968	2,127	94	2,222

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	53,957	57,585
「その他」の区分の売上高	8,285	9,126
セグメント間取引消去	△7,450	△8,219
連結財務諸表の売上高	54,792	58,492

（単位：百万円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,807	2,127
「その他」の区分の利益又は損失（△）	79	94
セグメント間取引消去	1	6
その他の調整額	1	1
連結財務諸表の営業利益	1,889	2,229

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	4,886.11円	5,037.45円
1株当たり当期純利益金額	115.88円	141.76円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	1,642	1,975
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	1,642	1,975
普通株式の期中平均株式数(株)	14,171,135	13,932,948

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当連結会計年度末 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	68,462	67,918
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	68,462	67,918
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	14,011,570	13,482,769

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,554	4,522
受取手形	352	437
売掛金	7,433	7,203
有価証券	3,500	6,000
商品及び製品	25,876	26,780
仕掛品	1,674	3,260
原材料及び貯蔵品	2,569	2,979
前払費用	162	159
未収入金	1,562	1,394
その他	60	64
貸倒引当金	△0	△6
流動資産合計	45,745	52,795
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,275	8,909
構築物	1,539	1,621
機械及び装置	5,636	5,345
工具、器具及び備品	197	178
土地	6,114	6,035
建設仮勘定	227	249
その他	76	65
有形固定資産合計	23,067	22,404
無形固定資産		
借地権	179	179
ソフトウェア	134	119
その他	17	118
無形固定資産合計	331	417
投資その他の資産		
投資有価証券	20,678	18,696
関係会社株式	1,191	391
長期貸付金	280	-
前払年金費用	922	926
その他	99	73
貸倒引当金	△26	△1
投資その他の資産合計	23,144	20,087
固定資産合計	46,543	42,909
資産合計	92,289	95,705

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,041	1,698
短期借入金	14,457	17,658
未払金	146	281
未払費用	2,699	2,213
未払法人税等	294	865
前受金	112	108
契約負債	-	4
従業員預り金	1,735	1,775
その他	264	678
流動負債合計	20,751	25,283
固定負債		
長期借入金	233	226
繰延税金負債	3,556	2,996
退職給付引当金	4,655	4,553
長期預り敷金	1,056	1,086
その他	830	663
固定負債合計	10,331	9,526
負債合計	31,083	34,810
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金		
資本準備金	8,404	8,404
その他資本剰余金	13	11
資本剰余金合計	8,418	8,416
利益剰余金		
利益準備金	2,069	2,069
その他利益剰余金		
配当準備積立金	2,700	2,700
事業拡張積立金	1,200	1,200
買換資産圧縮積立金	1,966	1,936
特別償却準備金	42	32
別途積立金	18,516	18,516
繰越利益剰余金	10,637	12,274
利益剰余金合計	37,132	38,729
自己株式	△2,630	△3,528
株主資本合計	51,200	51,896
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,001	8,994
繰延ヘッジ損益	3	3
評価・換算差額等合計	10,005	8,998
純資産合計	61,205	60,895
負債純資産合計	92,289	95,705

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	52,406	56,004
売上原価	37,167	41,911
売上総利益	15,238	14,092
販売費及び一般管理費	13,658	12,236
営業利益	1,580	1,856
営業外収益		
受取利息及び配当金	549	611
その他	65	105
営業外収益合計	615	716
営業外費用		
支払利息	136	145
固定資産処分損	74	60
その他	34	24
営業外費用合計	245	230
経常利益	1,950	2,342
特別利益		
投資有価証券売却益	5	1,494
その他	-	3
特別利益合計	5	1,497
特別損失		
固定資産処分損	26	59
関係会社株式売却損	-	24
減損損失	21	473
その他	-	20
特別損失合計	48	577
税引前当期純利益	1,907	3,262
法人税、住民税及び事業税	558	1,099
法人税等調整額	△11	△137
法人税等合計	546	961
当期純利益	1,360	2,300

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金 配当準備 積立金
当期首残高	8,279	8,404	15	8,420	2,069	2,700
当期変動額						
買換資産圧縮積立金の取崩						
特別償却準備金の取崩						
剰余金の配当						
当期純利益						
自己株式の取得						
自己株式の処分			△2	△2		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	△2	△2	—	—
当期末残高	8,279	8,404	13	8,418	2,069	2,700

	株主資本					
	利益剰余金					
	その他利益剰余金					利益剰余金 合計
	事業拡張 積立金	買換資産 圧縮積立金	特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	1,200	1,992	52	18,516	9,951	36,482
当期変動額						
買換資産圧縮積立金の取崩		△25			25	—
特別償却準備金の取崩			△9		9	—
剰余金の配当					△710	△710
当期純利益					1,360	1,360
自己株式の取得						
自己株式の処分						
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	△25	△9	—	685	650
当期末残高	1,200	1,966	42	18,516	10,637	37,132

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△2,327	50,855	9,416	△0	9,416	60,271
当期変動額						
買換資産圧縮積立金の 取崩		—				—
特別償却準備金の取崩		—				—
剰余金の配当		△710				△710
当期純利益		1,360				1,360
自己株式の取得	△316	△316				△316
自己株式の処分	13	11				11
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			585	4	589	589
当期変動額合計	△303	344	585	4	589	933
当期末残高	△2,630	51,200	10,001	3	10,005	61,205

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金 配当準備 積立金
当期首残高	8,279	8,404	13	8,418	2,069	2,700
会計方針の変更による 累積的影響額						
会計方針の変更を反映した 当期首残高	8,279	8,404	13	8,418	2,069	2,700
当期変動額						
買換資産圧縮積立金の 取崩						
特別償却準備金の取崩						
剰余金の配当						
当期純利益						
自己株式の取得						
自己株式の処分			△2	△2		
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						
当期変動額合計	－	－	△2	△2	－	－
当期末残高	8,279	8,404	11	8,416	2,069	2,700

	株主資本					
	利益剰余金					
	その他利益剰余金					利益剰余金 合計
事業拡張 積立金	買換資産 圧縮積立金	特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,200	1,966	42	18,516	10,637	37,132
会計方針の変更による 累積的影響額					△2	△2
会計方針の変更を反映した 当期首残高	1,200	1,966	42	18,516	10,634	37,129
当期変動額						
買換資産圧縮積立金の 取崩		△30			30	－
特別償却準備金の取崩			△9		9	－
剰余金の配当					△700	△700
当期純利益					2,300	2,300
自己株式の取得						
自己株式の処分						
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						
当期変動額合計	－	△30	△9	－	1,639	1,599
当期末残高	1,200	1,936	32	18,516	12,274	38,729

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△2,630	51,200	10,001	3	10,005	61,205
会計方針の変更による 累積的影響額		△2				△2
会計方針の変更を反映した 当期首残高	△2,630	51,197	10,001	3	10,005	61,202
当期変動額						
買換資産圧縮積立金の 取崩		—				—
特別償却準備金の取崩		—				—
剰余金の配当		△700				△700
当期純利益		2,300				2,300
自己株式の取得	△910	△910				△910
自己株式の処分	12	10				10
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			△1,006	△0	△1,007	△1,007
当期変動額合計	△898	699	△1,006	△0	△1,007	△307
当期末残高	△3,528	51,896	8,994	3	8,998	60,895